

<<<お知らせ>>>
 本製品を利用するには、電子工作の知識、はんだ付けと鉄道模型の分解・組立の技能が必要です。自信がない場合は、適切な方の指導を受けながら、作業してください。
 当方では、デコーダ、サウンドデコーダ、サウンドデータの詳細仕様・性能について問い合わせただいても十分なお答えができません。販売元に問い合わせ願います。

● 概要

EC-typeBは、箱根登山鉄道1000形ベルニナ号(T社製品)のDCC化・サウンド搭載を目的としたExpBoardです。先頭T車にデコーダ、スピーカーを搭載、M車のモーター・ライトに配線します。作例は旧動力製品です。現行製品は若干構造が異なるかもしりませんので、各自工夫をしてください。



作例のスピーカーは、CES-26138-16L030です。

● 仕様(DCC機器としての共通仕様は省略いたします)

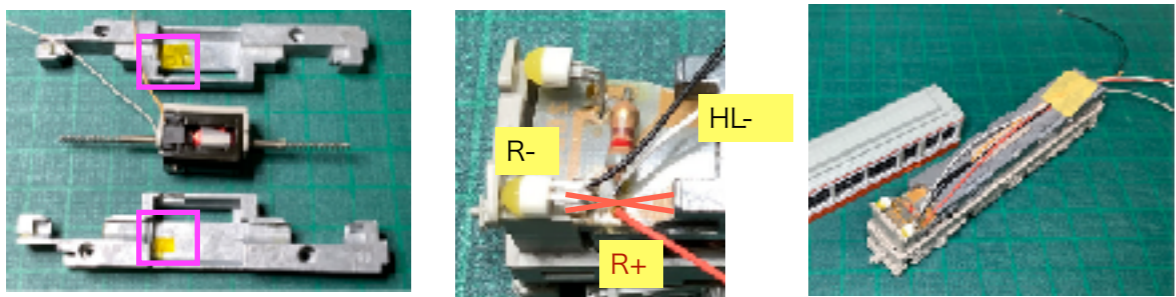
外形	82mm×15mm×0.8mm (プリント基板本体のみ、突起部、電子部品を除く)
モータ出力	最大500mA (オリジナル車両のものを使ってください)
ヘッドライト/テールライト	ヘッドライト：製品ライトユニットを一部加工して再利用します テールライト：改造用回路を搭載。各自加工が必要です
別途購入品	NEXT18対応DCCデコーダ、(スピーカーユニット)、配線材、絶縁テープ

● 部品表

部品番号	名称	詳細	EctypeB	備考
(PCB)	-	EctypeB	1	
J1	Next18コネクタ	No.11001(DesktopStation)	1	実装済み
	集電バネ		2	実装済み
TD1	停電保持回路(ト)	Rb160M-30T(ROHM他)	1	実装済み
TC1	マランコンデン	100Ω(3216サイズ)	1	実装済み
TC+,G	サ回路)	470uF	1	部品添付
R101,R102	テールライト用	例：10kΩ 2012サイズ	-	改造用

【1】 M車の準備

ボディを外し、ダイキャストフレームを抜きます。モーター端子をカットし、配線を取り出します。ダイキャストフレームと短絡せぬよう、**絶縁処理をしてください**(左写真)。M車のライトLED基板からは、集電とヘッドライト配線を取り出します。**抵抗の片側配線をカットして**その抵抗先端から"RL-"信号を取り出します。配線は屋根裏を通しますが、作例ではモーターマウントパーツに溝を切って納めています。



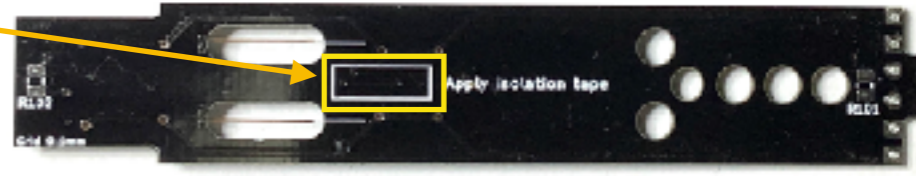
【2】 T車の準備

基板とバネを一度外し、ライトユニットとイスを分割、赤マジックで塗った部分を少し削り、ExpBoardを差し込めるようにします。



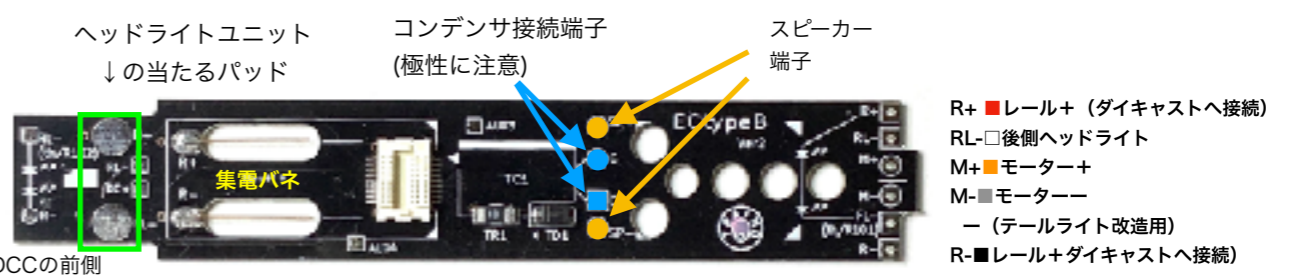
【3】 絶縁テープの貼り付け

基板裏側中央部の指摘した位置に**絶縁テープを貼り付けてください**。



【4】 部品の取り付け配線

コンデンサのパッド (C+,G) に停電防止コンデンサを、またスピーカーへの配線を行います。集電バネを基板から1mmくらい飛び出すように下に曲げておきます。



【5】 M車の配線と最終組み立て

デコーダにサウンドを書き込み、**必ず絶縁テープを巻いてから**EC-typeBに装着します。M車からの配線をボディ連結面窓を外して通し、EC-typeBの右端のパッドにはんだ付けします。

ライトユニットをボディに戻し、スピーカーやEC-typeBをボディにはめて、最後に床板を戻して完成です。



注意事項

- ECtypeBは、個人が趣味で設計・製作したものを、その目的を共有いただける方に費用の一部を負担いただきお分けするもの(頒布品)です。営利目的で設計・開発した商品と同様のサポートはできません
- デコーダや車両への取り付けもユーザー様の責任にて実施ください。その留意点については、ブログなどでなるべく説明いたしますが、すべて説明しきれぬ訳ではございません。
- 不良が発生した場合には無償で交換いたします。改善のために、不良内容について詳細を確認させていただく場合がございますのでご協力をお願いします。
- 14歳未満のお子さんの手の届かないところに保管ください。
- 一部静電気に敏感な半導体部品を利用しています。特にDCCデコーダをセットした後は、静電気や誤った方法で過電圧をかけたりせぬよう、注意してください。
- 本製品を利用するにあたって、DCCデコーダや車両の取り扱い説明書を十分に確認した上で段取りを決め、慎重に作業を行なってください。

製品についてお気づきの点がありましたら、購入時の窓口にご連絡をお願いします。